

市政の

ここが聞きたい!!

一般質問



一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をたずぬるものです。
なお、掲載文は質問議員本人の原稿によるもので、各議員の質問と当局の答弁の要旨は次のとおりです。

地域活性化施策の現状と連携について



柳沢英希 議員

問 生涯現役のまちづくり事業とは。

答 市内の社会資源を活用し、高齢者や会社を定年された方々が、幅広い世代で元氣な仲間づくりと活動の機会を作り、地域で支えあう大家族を目指す事業。
問 現在までの取り組みは。

答 市民中心の調査研究委員会を設置し、意見交換、現地調査を行い、成功させなければならぬ事業だと共通認識が芽生え、積極的な提案も出ている。

問 今後の施策や展開は。

答 全庁体制で対応する。今後、具体的に掘り下げ議論を展開し、市内にモデル地区を設け、実験、実証を始める準備を予定。委員の皆さんからの意見、高齢者の方のニーズを尊重し、いずれは市内全域で事業展開を図る。
問 『子ども・若者成長応援事業』『タカハマ物語』事業とは、多くの人が関われるドラマ

づくりを通じ、まちを知り、人と繋がり、共に活動し、自分たちでできる事を考え行動し、地域での取り組みに進んで参加していく、この街を作っていく人材の根っこをつくる事業。

問 成り立ちや経緯は。

答 中高生の居場所づくり事業『バコハ』の、卒業生から、もつと沢山の方々と関わって活動すべきだったという反省を踏まえ、多くの人が関われる手法としてドラマ制作がスタート。

問 現状の課題は。

答 ホームページで、様々な告知を行なっているが、まだPR不足もある。市役所内部でも、庁内掲示板で呼びかけ、引き続き協力をお願いしていく。

問 上映方法、周知方法は。

答 5月3日に中学生等が製作した音瓦を使ったコンサートを開催予定。そのシーンをクランクアップとして撮影。常時1000人の全体で1万人規模の観客の動員を予定。広報の4月15日号でチラシを全戸配布。

問 二つの事業の今後の関連と展開は。

答 高齢者と若者の繋がり合う接点がこの2事業にある。混ざって暮らす、活動するという、本来の地域の風土づくりに繋がれば良いと考える。

公園事業・予防接種事業・福祉行政・教育行政について



小野田由紀子 議員

問 論地町「高取南部老人いこの家」の隣にある「ミニパーク」の公園の整備について問う。

答 公園のあり方について部内でも検討を進めており、高齢化社会や社会情勢も視野に入れ、高取地区全体として論地町の位置付けを明確にし、公園のあり方を検討しております。

問 日本人の死因の上位を占める肺炎。その予防として有効とされる、高齢者の肺炎球菌ワクチン公費助成について問う。

答 厚生労働省の科学審議会予防接種部会の見解は、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン、B型肝炎ワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチンの七つのワクチンは、医学的、科学的な観点から人々の健康を守るうえで、広く接種を促進していくことが望ましい。将来的には七つのワ